

令和4年度

第14回大分県教育委員会 議事録

日 時 令和4年10月18日(火)
開会13時35分 閉会14時03分

場 所 教育委員室

令和4年度
第14回大分県教育委員会

【議 事】

(1) 議 案

第1号議案 大分県教育実践者表彰について

第2号議案 令和5年度大分県公立学校教職員定期人事異動方針等について

(2) 報 告

① 科学の甲子園ジュニア大分県大会2次予選の結果について

② 第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」の結果について

(3) 協 議

① 令和5年度海事職採用選考について

(4) その他

【内 容】

1 出席者

教育長	岡 本 天津男
委 員 委 員 (教育長職務代理者)	林 浩 昭
委 員	岩 崎 哲 朗
委 員	高 橋 幹 雄
委 員	高 鈴 木 恵 代
委 員	岩 武 茂 代
事務局 理事兼教育次長	渡 辺 登
教育次長	三 浦 一 雄
教育次長	内 海 真理子
参事監兼義務教育課長	武 野 太
教育改革・企画課長	重 親 龍 志
教育人事課長	大 和 孝 司
体育保健課長	佐 保 宏 二
教育改革・企画課 主幹 (総括)	新 貝 隆
教育改革・企画課 主査	得 丸 祐 輔
教育改革・企画課 主任	安 長 理 生

2 傍聴人

1 名

開会・点呼

(岡本教育長)

委員の出席確認をいたします。

本日は、全委員が出席です。

まず、10月9日付けで、教育委員に再任されました高橋 幹雄（たかはし みきお）委員から、一言ご挨拶をいただきたいと思います。

(高橋委員)

10月9日付けで再任をしていただきました。

3期目となりますが、子どもの学習環境の整備と安定した教育の実現を目指し、一層の貢献をしていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

(岡本教育長)

ありがとうございました。

それでは、ただ今から、令和4年度第14回教育委員会会議を開催します。

署名委員指名

(岡本教育長)

本日の議事録の署名については、岩崎委員にお願いします。

会期の決定

(岡本教育長)

本日の会議はお手元の次第のとおりです。会議の終了は14時35分を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

議 事

(岡本教育長)

始めに、会議は原則として公開することとなっておりますが、第1号議案及び協議①は、人事に関する案件ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により、これを公開しないことについて、委員の皆さんにお諮りいたします。

賛成の委員は挙手をお願いします。

(採 決) 全員挙手

(岡本教育長)

第1号議案及び協議①については、非公開といたします。

(岡本教育長)

本日の議事進行は、始めに公開による議事を行い、次に非公開による議事を行います。

【議 案】

第2号議案 令和5年度大分県公立学校教職員定期人事異動方針等について

(2課〔教育改革・企画課、教育人事課〕入室)

(岡本教育長)

それでは、第2号議案「令和5年度大分県公立学校教職員定期人事異動方針等について」提案しますので、教育人事課長から説明をしてください。

(大和教育人事課長)

人事異動方針と、それに基づく人事異動実施要綱につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第38条に定められている県費負担教職員の標準的な在職期間、任用に関する基準等を、任命権者である大分県教育委員会が規定するものです。

資料2ページをご覧ください。

平成21年度以降の人事異動方針等の変遷及び概要を添付しておりますが、時々的情勢に応じて必要な見直しを行っております。なお、内容の説明については、省略いたします。

それでは、令和5年度人事異動方針案について、説明します。資料の3ページから7ページまでに、人事異動方針案と実施要綱案を添付しておりますが、8ページ以降の新旧対照表で説明します。

資料8ページは変更点がありませんので、資料9ページをご覧ください。

人事異動方針の新旧対照表で、右側に令和5年度の異動方針案を記載しております。下段に記載の「第4 退職」の「2 定年引上げ」ですが、職員の定年等に関する条例が改正され、定年年齢が65歳へ引上げとなりますが、経過措置として、令和5年度から2年に1歳ずつ段階的に引上げを行い、令和13年度に65歳への引上げが完成となります。そのため、令和5年度の定年年齢は、1歳引上げて61歳となります。

また、定年年齢の変更に伴い、「3 再雇用制度」は、令和13年度までの定年の段階的引上げ期間中に、再雇用を希望する場合は、暫定再任用として、フルタイム勤務、短時間勤務で配置することになります。また、優れた学校経営の取組や経験の継承を促進するため、令和4年度に引き続いて、再任用校長を配置したいと考えております。

続きまして、資料10ページは「大分県市町村立学校教職員定期人事異動実施要綱」でございますが、特に変更点がありません。なお、先に開催された総合教育会議において協議いただきました2(4)③に記載の10年3地域の異動についても、現行と同様の表記としております。

なお、人事異動方針等については、承認いただきましたら、各県立学校及び市町村教育委員会に通知することとしております。

以上、ご審議のほど、よろしく申し上げます。

(岡本教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(林委員)

先ほどの総合教育会議において協議したことについては、次年度に反映される可能性があるということでしょうか。

(大和教育人事課長)

そのとおりです。今年度については、反映が間に合いませんでした。

(岡本教育長)

よろしいですか。

それでは、第2号議案の承認についてお諮りいたします。承認される委員は、挙手をお願いします。

(採 決) 全員挙手

(岡本教育長)

第2号議案については、提案のとおり承認します。

【報 告】

① 科学の甲子園ジュニア大分県大会2次予選の結果について

(2課〔教育改革・企画課、義務教育課〕入室)

(岡本教育長)

それでは、報告第1号「科学の甲子園ジュニア大分県大会2次予選の結果について」義務教育課長から説明をしてください。

(武野参事監兼義務教育課長)

「令和4年度科学の甲子園ジュニア大分県大会」の2次予選の結果について、報告します。

資料1ページをご覧ください。

この大会は、中学生の科学に対する興味・関心を高めるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的に、全国大会の代表校選考も兼ねて、平成25年度から開催しています。

今年度につきましては、1次予選を8月3日に、2次予選を10月1日に開催しました。

資料の「内容」の欄をご覧ください。

1次予選は、1チーム6人で、数学や理科の筆記問題に協働して取り組みました。また、アフリカンサファリ園長 神田 岳委 氏による講演も実施しました。

2次予選は、実技競技においてB4の画用紙を1枚ずつ使用し、飛翔体と発射装置を作成し、特定の距離にある的をねらう競技を行いました。この課題は、事前に参加校に提示しており、製作材料も提供しました。大会までに、各学校とも何度も試行し、改良を重ねて準備してきました。また、実技競技終了後は、関崎海星館館長 川田 政昭 氏による講演も実施しました。川田氏の講演では、ロケットは長いと飛距離が出ることや、表面積とフィンの比率により直進性が変化することについて説明頂き、参加した生徒は興味深く聞いておりました。

参加校につきましては、1次予選には25校43チームが参加しました。1次予選の上位チームが2次予選に進み、8校14チームが2次予選の競技を行いました。

結果は、1次予選と2次予選の総合得点で決まり、大分大学教育学部附属中学校Bチームが最優秀賞に輝き、全国大会に出場する大分県代表に決定しました。全国大会は、12月2日から兵庫県姫路市で開催される予定になっています。なお、11月22日には、全国大会出場壮行会を予定しています。

資料の下にある「生徒感想」の欄に記載のとおり、「実技の内容が時事に合っていてとても楽しかった。講演でも、自分たちの作ったロケットの改善点が分かった。」「分からなくても、自分の意見を出すこと。とにかくやってみること。意欲的に参加することがとても大切だと思った。来年は、この点を意識して参加したい。」とあります。このような内容が他にも沢山見られました。答えのない課題に対し、本やインターネットなどで調べたり、友だちと議論したりしながら試行錯誤する中で、科学に対する興味・関心が高まるとともに、協働して課題を解決することの楽しさや大切さに気づいたようでした。

以上で、報告を終わります。

(岡本教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(岩崎委員)

2次予選の実技競技での飛翔体は理解できましたが、発射装置はどのようなものですか。

(武野参事監兼義務教育課長)

発射装置については、筒の下の部分に袋を付け、袋の中の空気を押し出すことにより空気圧で飛ぶようになっています。袋の中の空気を押し出すというシンプルな仕組みですが、まっすぐ飛ばすことは難しいです。川田氏によると、飛翔体の表面積とフィンの面積の割合が、6対1であると一番安定性があるとのことでした。

(岩武委員)

要望ですが、来年度は動画を見せて欲しいと思います。その方がイメージがわいて、わかりやすいです。

(武野参事監兼義務教育課長)

来年度は動画をお見せしたいと思います。

② 第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」の結果について

(2課〔教育改革・企画課、体育保健課〕入室)

(岡本教育長)

それでは、報告第2号「第77回国民体育大会『いちご一会とちぎ国体』の結果について」体育保健課長から説明をしてください。

(佐保体育保健課長)

「第77回国民体育大会『いちご一会とちぎ国体』の結果について」報告します。

資料1ページをご覧ください。

第77回国民体育大会は、令和4年1月に栃木県でスケート・アイスホッケー競技が、令和4年2月に秋田県でスキー競技が開催された冬季大会から始まり、会期前実施競技が9月10日から19日にかけて開催され、本大会は10月1日から10月11日にかけて栃木県で開催されました。

「1 大分県の総合成績」をご覧ください。

天皇杯得点は989.0点で、総合順位は24位でした。目標の天皇杯得点

1, 000点には11点及びありませんでしたが、あと一步まで迫る戦いでした。

次に「2 都道府県総合成績」をご覧ください。

天皇杯は、開催県の栃木県が獲得できず、東京都が獲得しました。上位10県には、埼玉県、愛知県、大阪府、神奈川県など大都市圏が位置しています。10位以降には、北海道、京都府、兵庫県という大都市圏に加え、令和3年に国体の開催を予定していた三重県が12位、また、近年国体を開催した福井県が18位、茨城県が19位です。さらに、来年以降に国体の開催を予定している鹿児島県が14位、滋賀県が20位、佐賀県が21位に位置している状況です。

本県より上位には、大都市圏や国体開催後間もない県、今後国体を控えている県で占められているということになります。

次に「3 九州各県総合成績比較」をご覧ください。

表に記載のとおり、大分県は九州第4位の成績でした。

今回の国体を総括すると、会期前に実施した水泳競技で33.5点を獲得し、大会に臨む代表団に勢いをつけてくれました。大会の前半では、サッカーやテニス、フェンシング、なぎなた、空手道競技などの優勝をはじめ、ラグビーや剣道、レスリング、ボート、卓球競技で入賞を果たし、事前の分析・予想を超える得点獲得の状況でした。

なお、空手道競技成年女子形で優勝した大野ひかる選手は、国体3連覇を達成し、空手道競技成年男子形で優勝した西山走選手は、国体2連覇を達成しています。

大会の後半においても、アーチェリーやライフル射撃、陸上競技の優勝をはじめ、バレーボールや自転車、ボウリング、カヌー、ウエイトリフティング、馬術競技で入賞を果たし、想定通りの活躍をしてくれました。

今回の国体の特徴として、本県が実施してきた長年の強化策が実ったことが挙げられます。なかでもアーチェリー競技は、当課が取り組んでいる「ジュニアアスリート発掘事業」で適性を見いだされた選手が活躍しました。出場した成年女子、少年女子、少年男子の全ての種別において「ジュニアアスリート発掘事業」の卒業生が出場し、活躍しました。

天皇杯の得点は、目標には及びませんでしたが、出場したすべての競技の選手と監督が、「チーム大分」として最後まで諦めず、懸命に戦ってくれました。

来年の鹿児島特別国体に向けて、栃木国体に向けた強化の取組内容を競技ごとに十分分析し、1, 000点獲得に再度挑戦したいと考えています。

報告は以上です。

(岡本教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見なし)

(岡本教育長)

それでは、先に非公開と決定しました議事を行います。その前に、公開の議事でその他、何かありますか。

(岡本教育長)

では、非公開の議事を行いますので、傍聴人は退出してください。

【議 案】

第1号議案 大分県教育実践者表彰について

(1課〔教育改革・企画課〕入室)

(岡本教育長)

それでは、第1号議案「大分県教育実践者表彰について」提案しますので、教育改革・企画課長から説明をしてください。

(説 明)

(岡本教育長)

ただ今説明のありました議案について、審議を行います。
ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見)

(岡本教育長)

第1号議案の承認についてお諮りいたします。
承認される委員は、挙手をお願いします。

(採 決)

(岡本教育長)

第1号議案については、提案のとおり承認します。

【協 議】

① 令和5年度海事職採用選考について

(2課〔教育改革・企画課、教育人事課〕入室)

(岡本教育長)

次に、協議第1号「令和5年度海事職採用選考について」教育人事課長から説明をしてください。

(説 明)

(岡本教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見)

(岡本教育長)

今回の協議の結果を踏まえ、準備を進めていきます。

(岡本教育長)

最後にその他、何かありますか。

それでは、これで令和4年度第14回教育委員会会議を閉会します。

ありがとうございました。